

領収書等貼付用紙

2020 年度分
(令和2)

整理番号

3

領収証

岸田 敦子 様

¥15,000—

但し、「(オンライン) 緊急開催! 来年度予算はどうなる/Zoom 財政研修会 コロナ禍のもと、自治体予算をどう組む?」(2021 年 2 月 5 日) 受講料として、上記正に領収いたしました。(受講者様ご氏名: 岸田 敦子 様)

2021 年 1 月 18 日

株式会社自治体研究

代表取締役 長平

〒162-8512

東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル 4 階

電話 03-3235-5941

経費の範囲

- ☐ 調査研究費
- ☒ 研修費
- ☐ 広報費
- ☐ 広聴費
- ☐ 要請・陳情活動費
- ☐ 会議費
- ☐ 資料作成費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 通信交通費
- ☐ 人件費
- ☐ 事務所費

使途項目

- ☐ 交通費
- ☐ 宿泊費
- ☐ 自動車借上料
- ☐ 燃料費
- ☐ 有料道路通行料
- ☐ 駐車料金
- ☐ 通信運搬費
- ☐ 土産代
- ☐ 会場借上料
- ☐ 機械器具等借上料
- ☐ 委託料
- ☐ 講師謝礼
- ☐ 飲食費
- ☒ 出席者負担金
- ☐ 会費
- ☐ 印刷製本費
- ☐ 翻訳料
- ☐ 消耗品費
- ☐ 新聞雑誌購読料
- ☐ 書籍購入費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 固定電話料金
- ☐ 携帯電話料金
- ☐ インターネット料金
- ☐ 賃金
- ☐ 賃借料
- ☐ 維持管理費
- ☐ 備品購入費
- ☐ その他の費用

領収書等貼付用紙

2020年度分
(令和2)

整理番号

3

調査研究活動等報告書（視察・研修・要請・陳情）	
出張者氏名	岸田 敦子
出張先	オンライン研修（自宅）
目的	Zoom 財政講義「コロナ禍のもと、自治体予算をどう組む？」の受講
期間	2021年2月5日（金）第1講 10:00～12:30 第2講 13:30～16:00
活動内容	
第1講 「新型コロナ対策と第3次補正予算・2021年度政府予算案を読み解く」 講師：平岡和久 立命館大学教授 ①予算審議に必要な観点が詳しく説明される。 ・政策を作り、必要な財源はいくらか ・政府の交付金などはいくらか ・財源（減収補填）は適切に見積もられているか 必要な施策などが足りなければ、予算の組替えの提案も必要。 ポイント…先送りできる公共投資は後回しにする。 団体や市民へのアンケート等から、どういう分野を優先すべきかを考える。などのヒントが示される。 ②市税減収分の交付税措置について詳しい説明がある。 市税減収分は交付税が若干増えており、減収分のかなりの部分がまかなえると思うが、それだけでは足りない。財政調整基金はこういう時のために出すべきであり、他にも災害対策や退職手当償などの基金の組替えも提案し、市民が困っている時こそ財政出動をすべきと指摘される。 第2講 「新型コロナに対応する地方財政」 講師：森裕之 立命館大学教授 『自然災害としてのコロナ禍と政策のあり方』について以下の5点を強調。 1. 被害実態を総合的に把握する。 2. 被害の原因と責任の所在を明らかにする。 3. 被害者のケア・補償と生活・経営の維持・再建を行う。 4. 感染拡大防止、収束のための規制や行政手段、公民協力などを展開する。 5. 感染症パンデミック災害に対する備えや予防を重視する。 日本のコロナ禍は政策的要因が大きく影響しており、国として、社会的検査体制の確立と、医療・福祉・教育・物流など社会経済活動に不可欠な従事者や機関への支援、社会的弱者への支援を重視する必要がある。緊急時は自治体の自助努力だけでは限界があり、政府による財源保障が不可欠とし、国の地方財政計画に基づき、財政対策のポイントが様々な示される。	

経費の範囲

- ☐ 調査研究費
- ☐ 研修費
- ☐ 広報費
- ☐ 広聴費
- ☐ 要請・陳情活動費
- ☐ 会議費
- ☐ 資料作成費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 通信交通費
- ☐ 人件費
- ☐ 事務所費

使途項目

- ☐ 交通費
- ☐ 宿泊費
- ☐ 自動車借上料
- ☐ 燃料費
- ☐ 有料道路通行料
- ☐ 駐車料金
- ☐ 通信運搬費
- ☐ 土産代
- ☐ 会場借上料
- ☐ 機械器具等借上料
- ☐ 委託料
- ☐ 講師謝礼
- ☐ 飲食費
- ☐ 出席者負担金
- ☐ 会費
- ☐ 印刷製本費
- ☐ 翻訳料
- ☐ 消耗品費
- ☐ 新聞雑誌購読料
- ☐ 書籍購入費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 固定電話料金
- ☐ 携帯電話料金
- ☐ インターネット料金
- ☐ 賃金
- ☐ 賃借料
- ☐ 維持管理費
- ☐ 備品購入費
- ☐ その他の費用

領収書等貼付用紙

2020
(令和2)年度分

整理番号

3

経費の範囲

- ☐ 調査研究費
- ☐ 研修費
- ☐ 広報費
- ☐ 広聴費
- ☐ 要請・陳情活動費
- ☐ 会議費
- ☐ 資料作成費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 通信交通費
- ☐ 人件費
- ☐ 事務所費

使途項目

- ☐ 交通費
- ☐ 宿泊費
- ☐ 自動車借上料
- ☐ 燃料費
- ☐ 有料道路通行料
- ☐ 駐車料金
- ☐ 通信運搬費
- ☐ 土産代
- ☐ 会場借上料
- ☐ 機械器具等借上料
- ☐ 委託料
- ☐ 講師謝礼
- ☐ 飲食費
- ☐ 出席者負担金
- ☐ 会費
- ☐ 印刷製本費
- ☐ 翻訳料
- ☐ 消耗品費
- ☐ 新聞雑誌購読料
- ☐ 書籍購入費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 固定電話料金
- ☐ 携帯電話料金
- ☐ インターネット料金
- ☐ 賃金
- ☐ 賃借料
- ☐ 維持管理費
- ☐ 備品購入費
- ☐ その他の費用

緊急開催 zoom 財政講義 20210205 タイムスケジュール
コロナ禍のもと、自治体予算をどう組む？

9:40 ごろより 招待メールより参加ください

10:00~10:05 (05) 主催者あいさつ

10:05~11:35 (90) 平岡先生講義 平岡先生

11:35~11:45 (10) 10分休憩

11:45~12:30 (45) 質問への対応 平岡先生

12:30~13:30 (60) 休憩・昼食 *注意 ZOOMは切らずにビデオ、マイクをミュートに

13:30~15:00 (90) 森先生講義 森先生

15:00~15:10 (10) 10分休憩

15:10~16:00 (50) 質問への対応 森先生

16:00 終了宣言

領収書等貼付用紙

2020
(令和2)年度分

整理番号

3

2021年2月5日

Zoom研修会 第1講

新型コロナウイルス対策と第3次補正
予算・2021年度政府予算案を
読み解く

平岡 和久 (立命館大学)

経費の範囲

- ☐ 調査研究費
- ☐ 研修費
- ☐ 広報費
- ☐ 広聴費
- ☐ 要請・陳情活動費
- ☐ 会議費
- ☐ 資料作成費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 通信交通費
- ☐ 人件費
- ☐ 事務所費

使途項目

- ☐ 交通費
- ☐ 宿泊費
- ☐ 自動車借上料
- ☐ 燃料費
- ☐ 有料道路通行料
- ☐ 駐車料金
- ☐ 通信運搬費
- ☐ 土産代
- ☐ 会場借上料
- ☐ 機械器具等借上料
- ☐ 委託料
- ☐ 講師謝礼
- ☐ 飲食費
- ☐ 出席者負担金
- ☐ 会費
- ☐ 印刷製本費
- ☐ 翻訳料
- ☐ 消耗品費
- ☐ 新聞雑誌購読料
- ☐ 書籍購入費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 固定電話料金
- ☐ 携帯電話料金
- ☐ インターネット料金
- ☐ 賃金
- ☐ 賃借料
- ☐ 維持管理費
- ☐ 備品購入費
- ☐ その他の費用

領収書等貼付用紙

2020
(令和2)年度分

整理番号

3

経費の範囲

- ☐ 調査研究費
- ☐ 研修費
- ☐ 広報費
- ☐ 広聴費
- ☐ 要請・陳情活動費
- ☐ 会議費
- ☐ 資料作成費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 通信交通費
- ☐ 人件費
- ☐ 事務所費

使途項目

- ☐ 交通費
- ☐ 宿泊費
- ☐ 自動車借上料
- ☐ 燃料費
- ☐ 有料道路通行料
- ☐ 駐車料金
- ☐ 通信運搬費
- ☐ 土産代
- ☐ 会場借上料
- ☐ 機械器具等借上料
- ☐ 委託料
- ☐ 講師謝礼
- ☐ 飲食費
- ☐ 出席者負担金
- ☐ 会費
- ☐ 印刷製本費
- ☐ 翻訳料
- ☐ 消耗品費
- ☐ 新聞雑誌購読料
- ☐ 書籍購入費
- ☐ 資料購入費
- ☐ 固定電話料金
- ☐ 携帯電話料金
- ☐ インターネット料金
- ☐ 賃金
- ☐ 賃借料
- ☐ 維持管理費
- ☐ 備品購入費
- ☐ その他の費用

新型コロナウイルスに対応する地方財政

裕之(立命館大学)

森